

悲しみのミルク (2008)

LA TETA ASUSTADA
THE MILK OF SORROWメディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 ペルー
色彩 Color
時間 97分
初公開日 2011/04/02
公開情報 東風

【キャッチコピー】

南米ペルー近現代史の悲劇が生んだ一人の女——ファウスタ。彼女の歌声と秘密、そして旅立ちを、鮮やかに描きだす。

【解説】

2009年のベルリン国際映画祭で最高賞の金熊賞に輝いたヒューマン・ドラマ。80年代にテロの恐怖と混乱が渦巻いた南米ペルーの歴史を背景に、その悲劇と傷跡を母より受け継いでしまった一人の女性の過酷な日々と再生への希望を寓話的に綴る。主演は新人、マガリ・ソリエル。監督はこれが長編2作目のクラウディア・リョサ。

ペルーの貧しい村。死を目前にした一人の老女が歌っていた。それは、テロの時代に彼女が味わった壮絶な恐怖と苦しみの記憶。やがて老女は息を引き取り、娘のファウスタが一人残された。母親の苦しみを母乳から受け継いだと信じるファウスタは、成長した今も恐怖のために一人で出歩くこともままならない。しかし、母を故郷の村に埋葬したいと願う彼女は、その費用を稼ぐため、街の裕福な女性ピアニストの屋敷でメイドの仕事を始める。恐怖心を紛らわせるため即興の歌を口ずさむファウスタ。その歌に興味を持ったピアニストの提案で、一曲歌うごとに真珠一粒と交換するという約束を交わすファウスタだったが…。

【クレジット】

| | | | |
|----|--------------|--------------------|-------|
| 監督 | クラウディア・リョサ | Claudia Llosa | |
| 製作 | アントニオ・チャバリアス | Antonio Chavarrias | |
| | ホセ・マリア・モラレス | Jose Maria Morales | |
| | クラウディア・リョサ | Claudia Llosa | |
| 脚本 | クラウディア・リョサ | Claudia Llosa | |
| 撮影 | ナターシャ・ブライエ | Natasha Braier | |
| 編集 | フランク・グティエレス | Frank Gutierrez | |
| 音楽 | セルマ・ムタル | Selma Mutal | |
| 出演 | マガリ・ソリエル | Magaly Solier | ファウスタ |
| | スシ・サンチェス | Susi Sanchez | アイダ |
| | エフライン・ソリス | Efraín Solís | ノエ |
| | マリノ・バリオン | Marino Ballón | |